

新規就農小規模養鶏農家に対する飼養衛生管理遵守

およびワクチン接種指導：岡山県岡山家保 西川 早百

合、佐藤 静子

令和元年から5年にかけて管内の新規就農養鶏農家10戸は全て飼養羽数100羽未満の小規模であり、その多くが「自然養鶏」に取り組み、自家孵卵または初生導入のため各種ワクチン非接種であった。このうち、令和4年度就農の1戸に対し飼養衛生管理基準に基づく指導を実施。鶏舎専用長靴の履替え及び給与沢水の水質検査を指導。更に、畜主にニューカッスル病ワクチン接種の必要性を啓発し、同年7月から接種開始。本農場の規模拡大時には新鶏舎建設前に家保が図面を確認し、助言できる関係を構築。また、4戸に対し抗体保有状況調査（ND、MG、MS、IB）を実施し、結果に基づくワクチン接種と飼養衛生管理基準遵守を指導。新規就農者に対する衛生指導の重要性を改めて認識したことから、得られた知見を元に、小規模養鶏農家の指導マニュアル作成に取り組んでいる。